

連絡先 自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線 42354
 アドレス : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成30年 6月14日

リコール届出番号	4282	リコール開始日	平成30年 6月15日
届出者の氏名又は名称	日野自動車株式会社 代表取締役社長 下 義生		問い合わせ先：お客様相談窓口 TEL 0120-106558
不具合の部位（部品名）	①原動機（ハイブリッド制御プログラム） ②原動機（ファンベルト振止めローラ固定金具） ③原動機（ファンベルトプーリ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	大型ハイブリッド路線バスにおいて、 ①エンジン始動時のハイブリッド制御プログラムが不適切なため、サプライポンプの回転速度に燃料供給が追い付かず、サプライポンプのローラとシュー間で潤滑不良を起こすことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ローラとシューが焼付いてサプライポンプが破損し、走行できなくなるおそれがある。 ②エンジンクランクプーリ上部にあるファンベルトの振止めローラを固定する金具の強度が不足しているため、エンジン振動により当該金具が共振して折損するものがある。そのため、走行中に当該金具とローラが脱落するおそれがある。 ③ファンベルトのプーリ間距離が不適切なため、ファンベルトが振れて早期にたわみ量が大きくなることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ファンベルトが振れて中央部で屈曲を繰り返すことで分断し外れ、オーバーヒートとなるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、ハイブリッドECU及びサプライポンプを対策品に交換する。 ②全車両、ファンベルトの振止めローラの固定金具を対策品に交換する。 ③全車両、ファンベルトのプーリ間にアイドルプーリを追加する。また、ファンベルトを新品に交換する。		
不具合件数	①11件、②29件、③21件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近にNo.4282のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日野	QSG-HL2ANAP	「日野 ブルーリボン ハイブリッド」	HL2ANA-40011～HL2ANA-40073 平成27年11月13日～平成29年7月17日	63	①:63 ②:63 ③:63

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
日野	QSG-HL2ASAP	「日野 ブルーリボン ハイブリッド」	HL2ASA-40011～HL2ASA-40051 平成27年11月13日～平成29年7月11日	41	①:41 ②:41 ③:41
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成27年11月13日～平成29年7月17日	(計104台)	①:104 ②:104 ③:104

備考；本届出の③は、平成28年11月29日付け届出番号「3937」にてリコール届出をおこなったものであるが、対策品で不具合が発生したため、改善措置の内容を見直し届出をおこなうものである。

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。